

Some Reflections on Psychoanalytic Practice Today: Crisis or Catalyst?

今日の精神分析的な実践についての考察：危機か、それとも触媒か？

講演：Alessandra Lemma

司会：福本 修（代官山心理・分析オフィス／きしろメンタルクリニック）

指定討論：富樫 公一（甲南大学）

通訳：山本 文

【概要】

この講演で私は世界中の精神分析を実践している人たちが直面している現在の課題について述べたい。私は臨床心理士であり、精神分析家として、英国の公的な精神保健の場で働いてきた経験や、気分障害の治療のための短期精神分析的アプローチ（力動的対人関係療法）を開発してきた経験をもとに私たちが直面している危機の本質について考察したい。私は、精神分析が直面している危機は精神分析的思考を再び活性化して、21世紀の課題に適した実践を強化する機会にもなりうることを主張したい。

【演者紹介】

Alessandra Lemma アレッサンドラ・レマ

（英国精神分析学会フェロー、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの精神分析ユニット客員教授、アンナ・フロイト・センター顧問、ローマ：ウィニコットセンター客員教授）